

県内に在住する外国人の推移（毎年12月末現在）

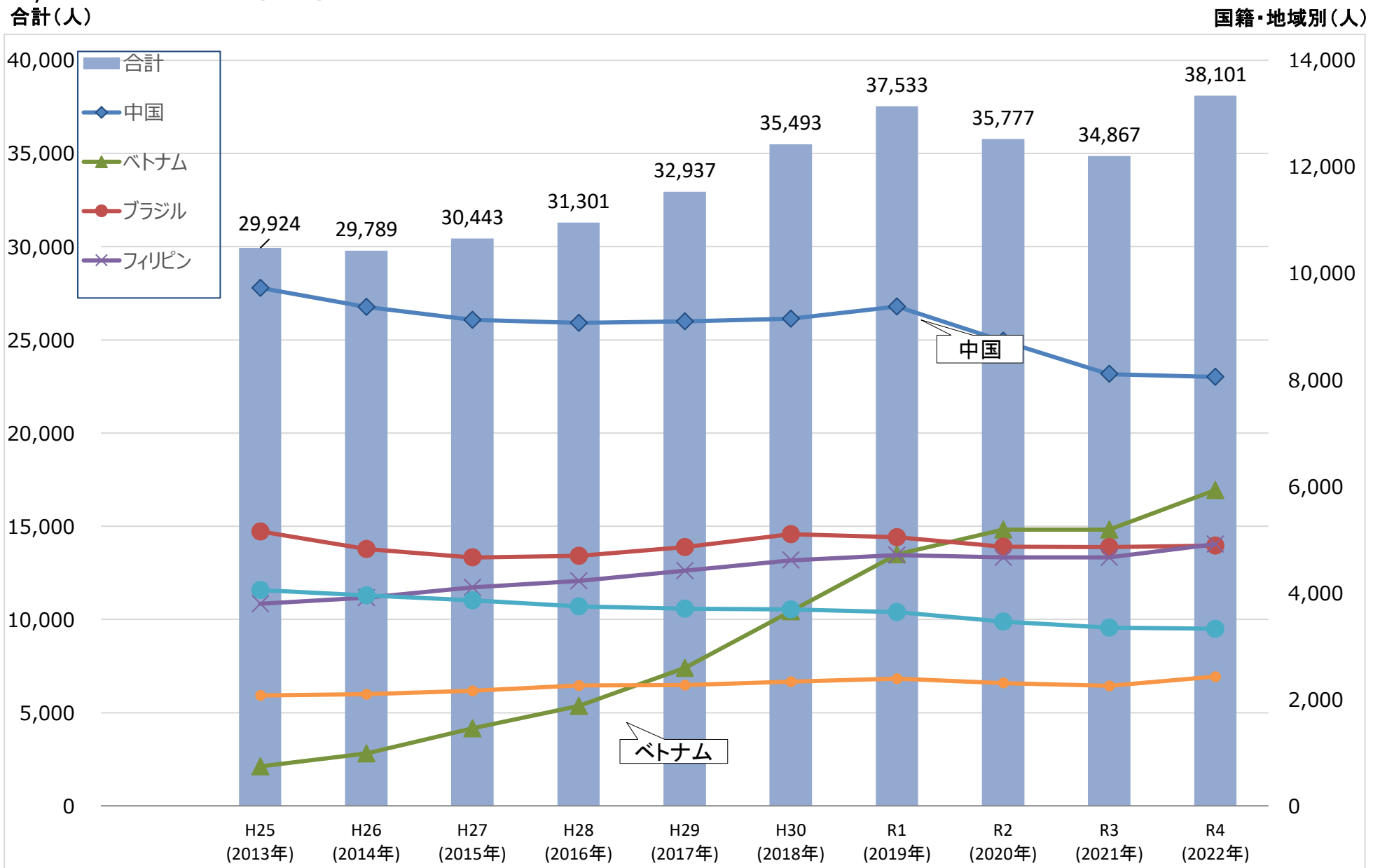
長野県県民文化部多文化共生・パスポート室

○県内の外国人住民数は、令和2年から令和3年にかけて2年連続で減少となったが、令和4年は一転して増加し、過去最高^{※1}となった。（対前年比3,234人（9.3%）の増加）

○国籍・地域別では、令和元年から中国が14.1%減少したのに対し、ベトナムは25.6%の増加となっており、令和2年から3年連続で2位となっている。

○在留資格別では、永住者が最も多く13,754人（全体の36.1%）、続いて技能実習の5,018人（同13.2%）、定住者3,797人（同10.0%）、日本人の配偶者等3,177人（同8.3%）となっている。

○入管法改正により新設（平成31年4月～）された特定技能1号は、令和2年は259人（対前年比218人（531.7%）増）、令和3年は923人（対前年比664人（256.4%）増）、令和4年は2,198人（対前年比1,275人（138.1%）増）となった。



(単位：人) ※2

区分	H25 (2013年)	H26 (2014年)	H27 (2015年)	H28 (2016年)	H29 (2017年)	H30 (2018年)	R1 (2019年)	R2 (2020年)	R3 (2021年)	R4 (2022年)	構成比
中国	9,727	9,368	9,124	9,072	9,096	9,150	9,379	8,730	8,109	8,054	21.1%
ベトナム	740	980	1,457	1,875	2,587	3,651	4,722	5,188	5,185	5,930	15.6%
フィリピン	3,795	3,911	4,101	4,221	4,419	4,612	4,708	4,667	4,664	4,914	12.9%
ブラジル	5,154	4,822	4,663	4,692	4,856	5,104	5,044	4,863	4,859	4,888	12.8%
韓国・朝鮮 ^{※3}	4,052	3,953	3,857	3,742	3,705	3,690	3,640	3,460	3,346	3,326	8.7%
タイ	2,073	2,094	2,162	2,258	2,267	2,331	2,388	2,307	2,253	2,427	6.4%
その他	4,383	4,661	5,079	5,441	6,007	6,955	7,652	6,562	6,451	8,562	22.5%
合計	29,924	29,789	30,443	31,301	32,937	35,493	37,533	35,777	34,867	38,101	100.0%

(参考) 2022 (R4) 年6月末日現在 全国計 2,961,969人
(出入国在留管理庁:令和4年6月末日現在における在留外国人数について)

※1 H24 (2012年) 7月に外国人の住民基本台帳制度が始まって以降

※2 当資料の数値は県多文化共生・パスポート室の集計であり、出国記録等によって調整された同庁「在留外国人統計」の数値とは差が生じている。

※3 R2年度調査から、他表では、在留外国人統計（出入国在留管理庁）の区分と同様に、「韓国」、「朝鮮」を区別して計上しているが、本表では、過去からの推移がわかりやすいように、両区分をあわせて「韓国・朝鮮」として、計上している。